

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名：一般国道336号 <small>えりひろ</small> 襟広防災	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北海道開発局
起終点：自： <small>ほっかいどうほろいずみ</small> 北海道幌泉郡えりも町字庶野 至： <small>ほっかいどうひろお</small> 北海道広尾郡広尾町ツチウシ		延長：18.7km
<b>事業概要</b> 一般国道336号は、浦河町からえりも町を経て釧路市に至る約150kmの幹線道路である。当該事業は、海岸線の屈曲が著しく地形的に急崖斜面が連続しており、通行規制区間及び特殊通行規制区間、落石崩壊・岩石崩壊等の道路防災点検要対策箇所の解消を目的とした延長約18.7kmの防災事業である。		
H2年度事業化	H1年度都市計画決定 (H1年度変更)	H3年度用地補償着手
H2年度工事着手		H2年度工事着手
全体事業費	約793億円	事業進捗率：75%
計画交通量	1,000～1,300台/日	
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.1 (残事業) 4.7	総費用：(残事業)/ (事業全体) 169/866億円 (事業費：170/869億円) (維持管理費：-0.84/-2.9億円)
総便益：(残事業)/ (事業全体) 800/991億円 (走行時間短縮便益：629/780億円) (走行経費減少便益：158/195億円) (交通事故減少便益：13/17億円)		基準年：平成21年
<b>感度分析の結果</b> ：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.4(交通量+10%) B/C=4.3(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.3(事業費+10%) B/C=5.2(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=4.7(事業期間+1年) B/C=4.9(事業期間-1年)		
<b>事業の効果等</b> 地域の特殊性を考慮した便益 ①余裕時間の短縮による効果 ・当該道路の整備により到着予定時刻に遅刻しないために見込む余裕時間が短縮する効果【約31億円※】 ※は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値） 定性的な効果 ②通行規制区間の解消 ・当該道路の整備により通行規制区間が解消され、交通の安全性及び確実性の向上が期待される。 ③災害による道路寸断で孤立化する集落の解消 ・えりも町目黒地区やえりも町全域で通行止めによる孤立化が発生しており、当該道路の整備により孤立化する集落の解消が期待される。（目黒地区の孤立化時間：1846時間/10年） ④CO2排出量の削減 ・当該道路の整備により自動車からのCO2排出量311（t-CO2/年）の削減が期待される。		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域から頂いた主な意見等： 7町の首長で構成される日高総合開発期成会や4町の首長及び議会議長で構成される十勝海岸線国道建設促進期成会より防災対策事業促進の要望を受けている。 知事の意見： 落石や岩盤崩壊など危険箇所の対策を実施することにより、安全な通行が図られ、道民生活の安全・安心の確保に寄与することから事業の継続が必要である。		
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当とするが、緊急性のある事業のため、早期に完成するよう事業の促進に努めること。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・市町村合併により「幕別町」「日高町」「新ひだか町」「むかわ町」「安平町」が誕生。 ・日高自動車道が日高富川ICまで、帯広・広尾自動車道が中札内ICまで開通。		

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成2年度に工事着手して、用地進捗率99%、事業進捗率75%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期供用に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

現地調査に基づき別線整備区間（トンネル）および法面対策を追加、岩盤掘削工法を変更し施工を効率化、現場打法枠工の配置を見直しなどの変更を行っている。

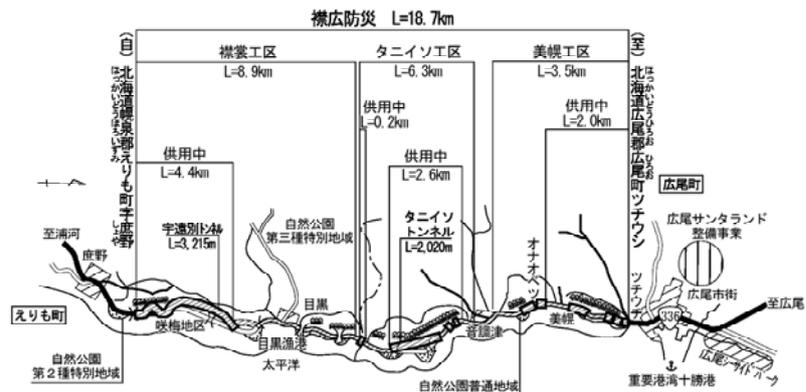
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性は変化なく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。